

週刊 SSH（7月18日）

お茶高連携事業：東京理科大学・数学体験館訪問

お茶の水女子大学附属高等学校さんからお誘いをいただき、お茶高の生徒さんと一緒に、東京理科大学の近代科学資料館と数学体験館を訪問しました。

館長の伊藤 稔 名誉教授から、東京理科大学の創設秘話から誕生日当て、誤り修正コードなど、身近に使われている数学についてお話しいただきました。その後、数学体験館内で実際に様々な数学的現象（楕円形のビリヤード台、サイクロイド滑り台、二項分布パチンコ台など）を体験し、生徒たちは楽しそうに、そして目を輝かせながら「なんで？」と話していました。

数学体験館内は写真撮影ができませんでしたが、興味深い題材が数多くありました。入館無料ですので、ぜひ体験してみてはいかがでしょうか！



館長さんのお話により、人間の手計算よりもはやく計算のできるAIが発達している現代社会において、私たち人間がどのように数学を使っていくべきかを学びました。それこそプログラミングは数学のアルゴリズムが使われているため、実用する上での数学の重要性を再確認できました。また「数学」という言葉だけを聞くと、普段の授業で扱われる答えのある数式、公式を思い浮かべる方が多いと思います。しかし今回の数学体験館では、座学で扱う理論的な数学ではなく、数式を実験して肌で感じるという貴重な体験ができました。これからも数学を楽しみながら、より深く学んでいきたいと思います。

（1年 N）

今回の東京理科大学の数学体験会は、「数学」というものをもとても面白く触れられるものであった。体験館に来ているのは小学生くらいの子が多い印象であったが、内容は小学生でもわかるものから大学数学に関わるような難しいものまであり、数学の奥深さを感じた。体験館のワークシートがクイズ形式なので、とにかく「埋めたい」という意欲が湧いてきてあっという間に時間が過ぎていった。お茶の水女子高校の生徒さんと一緒に、 Σ （シグマ）の原理を視覚的に見てインストラクターの人から原理を聞いて理解を深められたことも良い経験になった。大人数でなければ予約の必要もなく、入場料金もないので、また行ってみたい。体験したことはどれも今後の数学人生に新しい考え方を与えてくれるような深く楽しいものだった。（1年 Y）



【東京理科大学 数学体験館】〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科大学二村記念館

開館時間：水・木・金 12:00～16:00、土 10:00～16:00

休館日：月・火・日・祝・大学休業日